

農学部 ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー

農学部ディプロマ・ポリシー

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

山形大学農学部は、食料不足、資源の枯渇、環境の破壊、生物多様性の減少、地球温暖化など、農学に関するより複雑で多面的かつ大規模化している諸課題に対し、細分化した知識や技能の習得だけでなく、「広義の農学」に含まれる食料－生命－環境に関する多面的な諸課題を理解し、複眼的で総合的な判断力やバランス感覚を有した人材を育成する。

具体的には、食料生命環境学科に共通する以下の(1)～(3)の能力を有し、さらに各コースで定める専門的知識と能力が身につけている学生に対し、「学士（農学）」の学位を授与する。

- (1) 食料、生命、環境科学について総合的な判断力とバランス感覚を有している。
- (2) 食料、生命、環境科学について強い好奇心と探究心を有している。
- (3) 食料、生命、環境科学に関する諸課題への高い見識と展望を持ち、自ら諸課題を解決する能力を有している。

安全農産物生産学コース学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

環境を保全しながら、安全な農畜産物の持続的生産を担うことができるよう、循環型で安全な農畜産物の生産に関する科学的な理論の構築と実践的な技術について、以下の能力が身につけている学生

- (1) 安全な農畜産物の生産に必要な基礎科学と基礎技術に関する知識と、それを応用できる能力
- (2) 安全農畜産物生産の専門技術に関する知識と、それを問題解決や研究開発へと応用できる能力
- (3) 論理的に物事を考え、自分の考えを伝えるコミュニケーション能力（記述力、発表力、討議力）
- (4) 設定された条件の中で計画的に仕事を取り組み、まとめる能力
- (5) 地域や開発途上国の環境特性を熟知し、その地域社会の要求を総合的視野とともに解決できる能力

食農環境マネジメント学コース学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

環境と経済の両立を前提とした農業経営や関連産業の発展方策および地域活性化手法、食の安全や環境に配慮した社会システムなどについて、理論面からのモデル構築とフィールドリサーチを通じたモデルの検証などの体験学習の両面から修得し、以下の能力と技術が身につけている学生

- (1) 食料・農業・農村・環境の実態についてフィールドを通じて理解し、持続可能な農業経営の発展や地域活性化方策について多面的に考察する能力
- (2) 環境や食料問題、経営理論等に関する基礎知識を習得し、それを幅広く応用できる能力
- (3) 自ら主体的に企画立案し、創造的な研究を遂行していく能力
- (4) 論理的に思考し、討論する能力、効果的にプレゼンテーションできる技術

食品・応用生命科学コース学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

食を介する健康科学やバイオサイエンスの各種テーマに関して、講義、演習、実験実習を通して、幅広い基礎的知識を修得し、実際の研究活動に関わり専門的技術と実践的応用力を養うことで、以下の知識、能力、技術が身につけている学生。

- (1) 食品・応用生命科学に関する基礎的知識
- (2) 基礎的な情報処理方法、英語力
- (3) 食品・応用生命科学の基礎的技術
- (4) 研究立案・実行・検証力、科学的思考力・問題解決力
- (5) 食品・応用生命科学に関する専門知識
- (6) 機器分析等の専門的技術
- (7) 社会人としてのマナー、技術者倫理
- (8) 専門英文読解力
- (9) 専門的な情報処理方法
- (10) 科学論文作成、プレゼンテーション方法

植物機能開発学コース学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

有機化学や生化学、遺伝子工学、統計学、遺伝学、育種学、生理学、栄養学など幅広い学問分野について学び、講義や実験実習を通して、様々な課題を能動的に発見し、それらに柔軟に対応できる応用力、展開力のあるラボワーク、フィールドワークの実践が可能で、以下の能力と技術が身につけている学生。

- (1) 作物や植物資源、未利用微生物資源等幅広い学問分野に関する知識と、それらを研究するための専門的技術
- (2) 国際的な感覚と語学についての能力
- (3) 研究立案や研究発表など、研究者・技術者に必要な能力

森林科学コース学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

森林を取り巻く諸問題について、野外における実践的な作業と屋内での実験・実習・演習を通して、自然科学から社会科学まで多面的かつ総合的に学び、地域が抱える具体的な課題と対峙し、自然と人間社会のかかわりの中で起こる問題を深く認識し解決するため、以下の能力が身につけている学生。

- (1) 森林環境資源の基礎知識を習得して、自主的、継続的に学習する能力
- (2) 森林・林業・林産業および社会の実態を理解し、物事を多面的かつ重層的に考える能力
- (3) 得た基礎知識を元に、地域の自然と社会について自ら問題を掘り起こす能力
- (4) 掘り起こした問題に関する高度な情報収集能力
- (5) フィールドや室内における調査・実験および解析方法など、具体的な技能
- (6) 調査や実験で得た結果を客観的に解析し、それをもとにした論理的な考察力とそれらを伝える発表力や論文作成能力
- (7) 事実や結果にもとづいて議論を通して、自分の考えを主張できる能力
- (8) 与えられた条件の下で、計画的に仕事を進め、まとめる能力

水土環境科学コース学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

水と土の科学および、農地を造り、水を確保し、維持・管理する技術を土台に、人を含めた生物と自然環境および、人と社会環境の相互関係を学び、必要とされる農山村の自然・社会環境の保全と創生の方策を修得するため、以下の能力が身につけている学生。

- (1) 身近なフィールドを通して、農業と地域の実態を理解すると共に、地球規模での農業・環境問題を多面的に理解する能力
- (2) 農業水利施設や農地整備の設計法とともに、社会資本の整備に伴う環境への影響を理解し、環境保全策を検討できる能力
- (3) 持続可能な農業と農山村のあり方を検討できる能力
- (4) 調査や実験で得た結果を客観的に分析し、論理的に考察を加える能力や手法
- (5) 事実や結果に基づいて、自分の考えを表現し議論できる能力
- (6) 与えられた条件化で計画的に仕事を進め、まとめる能力

農学部カリキュラム・ポリシー

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

山形大学農学部学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を踏まえ、幅広い教養を身につける基盤教育のほか、食料生命環境学科に共通した科目など、以下のことを配慮しながら教育課程を編成し、これに従い教育を行う。

- (1) 食料、生命、環境科学について総合的で幅広い知識を持つため、コース配属前の学生に対し、専門基礎科目を開講し、幅広い分野の教育を行うとともに、コース配属後においても、学科共通科目やコース選択科目を配置することで、幅広い分野の教育を受けられるようにする。
- (2) 強い好奇心と探究心、諸課題への高い見識と展望を持って自ら解決する能力と、総合的な判断力を有した学生を育てるため、講義科目と、実験・実習、演習科目とを効果的に配置し、合わせて、学習の成果を社会生活や職業生活の場で生かせるよう、キャリア科目及び、学外・海外での実習科目を開講する。
- (3) 各コースにおいて定める専門的知識と能力が身につくよう、各コースのカリキュラムポリシーに従い専門科目を配置する。

安全農産物生産学コース教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）

安全農産物生産学コース学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を踏まえ、以下の専門科目を配置し、これに従い教育を行う。

- (1) 安全な農畜産物の生産に必要な基礎科学と基礎技術に関する科目
- (2) 安全農畜産物生産の専門技術に関する知識と、それを問題解決や研究開発へと応用する力を身につけるための科目
- (3) 論理的に物事を考え、自分の考えを伝えるコミュニケーション能力（記述力、発表力、討議力）を身につけるための科目
- (4) 設定された条件の中で計画的に仕事を取り組み、まとめる能力を身につけるための科目
- (5) 地域や開発途上国の環境特性を熟知し、その地域社会の要求を総合的視野とともに解決できる能力を身につけるための科目

食農環境マネジメント学コース教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）

食農環境マネジメント学コース学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を踏まえ、以下の専門科目を配置し、これに従い教育を行う。

- (1) 食料・農業・農村・環境の実態についてフィールドを通じて理解し、持続可能な農業経営の発展や地域活性化方策について多面的に考察する能力を身につけるための科目
- (2) 環境や食料問題、経営理論等に関する基礎的科目
- (3) 環境や食料問題、経営理論等に関する基礎知識を幅広く応用するための科目
- (4) 自ら主体的に企画立案し、創造的な研究を遂行していく能力を身につけるための科目
- (5) 論理的に思考し、討論する能力、効果的にプレゼンテーションできる技術を身につけるための科目

食品・応用生命科学コース教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）

食品・応用生命科学コース学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を踏まえ、以下の専門科目を配置し、これに従い教育を行う。

- (1) 食品・応用生命科学に関する基礎的な科目
- (2) 基礎的な情報処理方法、英語力を身につけるための科目
- (3) 食品・応用生命科学の基礎的技術に関する科目
- (4) 研究立案・実行・検証力、科学的思考力・問題解決力を身につけるための科目
- (5) 食品・応用生命科学に関する専門的な科目
- (6) 機器分析等の専門的技術を身につけるための科目
- (7) 社会人としてのマナー、技術者倫理を身につけるための科目
- (8) 専門英文読解力を身につけるための科目
- (9) 専門的な情報処理科目
- (10) 科学論文作成、プレゼンテーション方法を身につけるための科目

植物機能開発学コース教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）

植物機能開発学コース学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を踏まえ、以下の専門科目を配置し、これに従い教育を行う。

- (1) 作物や植物資源、未利用微生物資源に関する科目
- (2) 作物や植物資源、未利用微生物資源に関する知識を研究するための専門的技術を身につけるための科目
- (3) 国際的な感覚を身につけるための科目（科学英語リーディング、英語演習）
- (4) 研究者・技術者に必要な意識や考え方を身につけるための科目（研究立案展開演習、研究発表演習等）

森林科学コース教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）

森林科学コース学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を踏まえ、以下の専門科目を配置し、これに従い教育を行う。

- (1) 自主的、継続的に学習する能力を身につけるための、森林環境資源の基礎科目
- (2) 森林・林業・林産業および社会の実態を理解し、物事を多面的かつ重層的に考えるための科目

- (3) 得た基礎知識を元に、地域の自然と社会について自ら問題を掘り起こす能力を身につけるための科目
- (4) 掘り起こした問題に関する高度な情報収集能力を身につけるための科目
- (5) フィールドや室内における調査・実験および解析方法など、具体的な技能を身につけるための科目
- (6) 調査や実験で得た結果を客観的に解析し、それをもとにした論理的な考察力とそれらを伝える発表や論文作成に関する科目
- (7) 事実や結果にもとづいて議論を通して、自分の考えを主張できる能力を身につけるための科目
- (8) 与えられた条件の下で、計画的に仕事を進め、まとめる能力を身につけるための科目

水土環境科学コース教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）

水土環境科学コース学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を踏まえ、以下の専門科目を配置し、これに従い教育を行う。

- (1) 身近なフィールドを通して、農業と地域の実態を理解すると共に、地球規模での農業・環境問題を多面的に理解するための科目
- (2) 農業水利施設や農地整備の設計法とともに、社会資本の整備に伴う環境への影響を理解し、環境保全策を検討できる能力を身につけるための科目
- (3) 持続可能な農業と農山村のあり方を検討できる能力を身につけるための科目
- (4) 調査や実験で得た結果を客観的に分析し、論理的に考察を加える能力や手法を身につけるための科目
- (5) 事実や結果に基づいて、自分の考えを表現し議論できる能力を身につけるための科目
- (6) 与えられた条件化で計画的に仕事を進め、まとめる能力を身につけるための科目

農学研究科ディプロマ・ポリシー

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

山形大学農学研究科では、学部教育を通して培われた基礎知識と実践的応用力を基礎として、各専攻の定める能力が身につけている学生に対し「修士（農学）」の学位を授与する。

- (1) 多様化・複雑化した社会の要請に対応できる高度な専門的知識と技術を有している。
- (2) 研究、調査、開発といった創造的な事業に従事するための実践的な能力を有している。

生物生産学専攻学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

食料生産の原理、農産物の経済、生産基盤および環境の制御に関する高度な専門技術を習得するため、地域社会や国際社会が直面している食料・環境問題を総合的に解決できる以下の能力が身につけている。

- (1) 地域社会や国際社会における食料に関わる諸問題を抽出できる能力
- (2) それらの問題点の解決のための豊かな想像性と強い主体性を発揮する能力
- (3) それらの問題点を解決することで人類社会の平和および福祉に貢献できる能力

生物資源学専攻学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

生物資源に関わるより幅広い専門知識と課題探求能力を備え、創造性と主体性を持って地域社会や国際社会における様々な問題を解決することができるよう、研究開発に従事する上での実践能力が身につけている。

生物環境学専攻学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

社会のニーズを考慮した専門性の高い技術と自己表現技術を修得するため、多様なフィールドでの実践的な教育、自身の計画、他分野との共同作業や討論会などを通じて、以下の能力が身につけている。

- (1) 問題解決のための調査や実験の計画から実行、データ解析、考察までを実行できる能力
- (2) 討論を通じて事象に対する理解度を深めると共に、的確に自己を表現する能力
- (3) 身につけた研究プロセス能力を今後携わる様々な問題解決のために適用させ、即戦力として社会に貢献することができる能力

農学研究科カリキュラム・ポリシー

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

山形大学大学院農学研究科の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を踏まえ、以下に配慮しながら教育課程を編成し、これに従い教育を行う。

- (1) 多様化・複雑化した社会の要請に対応できる高度な専門的知識と技術を身につけるための教育・研究環境を用意する。
- (2) 各専門分野におけるより高度な知識と幅広い知識を修得し、研究、調査、開発といった創造的な事業に従事するための実践的な能力を身につけるための科目を配置する。
- (3) 各専攻において定める専門的知識と能力が身につくよう、各専攻のカリキュラムポリシーに従い科目を配置する。

生物生産学専攻教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）

生物生産学専攻の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を踏まえ、以下の専門科目を配置し、これに従い教育を行う。

- (1) 地域社会や国際社会における食料に関わる諸問題を抽出できる能力を身につけるための科目
- (2) それらの問題点の解決のための豊かな想像性と強い主体性を発揮する能力を身につけるための科目
- (3) それらの問題点を解決することで人類社会の平和および福祉に貢献できる能力を身につけるための科目

生物資源学専攻教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）

生物資源学専攻の授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を踏まえ、生物資源に関わるより幅広い専門知識と課題探求能力を備えるための科目と、地域社会や国際社会における様々な問題を解

決することができるようになるための、研究開発に従事する上での実践能力を身につけるための科目を配置する。

生物環境学専攻教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）

生物環境学専攻の授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を踏まえ、研究や専門知識によって、社会のニーズを考慮した専門性の高い技術と自己表現技術を修得できるよう、多様なフィールドでの実践的な教育を行うと共に、各種能力を身につけるための科目を配置する。